

## 「あばい もりのまなび舎！森林レクリエーション in 大窪山」について

### 1 目的

大船渡農林振興センターでは、令和5年に開催された全国植樹祭のレガシーを引き継ぎ地域の豊かな森林資源を次世代に伝えることを目的に、気仙地区の小学生親子を対象とした森林環境教育・自然体験イベントを開催したので、その概要を紹介します。

### 2 イベントの概要

令和6年6月2日(日)、大船渡市三陸町吉浜字平根地内の岩手県大窪山森林公園「もりの学び舎」とその周辺において、岩手県シェアリングネイチャー協会指導員の協力の下、7組15名が参加しました。

#### (1) ネイチャーゲーム

公園内にすむ動物や昆虫を題材としたパズル、生物の擬態を学ぶゲーム「カモフラージュ」などを行いました。



#### (2) カードゲーム「ZORING」

東北森林管理局三陸中部森林管理署が開発、制作した「ZORING(ゾーリン)」は木を植える準備から伐採するまでの森づくりを体験できるゲームです。

シカに苗木を食べられたりするハプニングを乗り越え、楽しみながらカードゲームに

よる森づくりを行いました。



#### (3) 苗木のホームステイ

全国植樹祭の苗木のスクールステイの家庭版として「苗木のホームステイ」を行い、参加者にはそれぞれ広葉樹の苗木を持ち帰っていただき観察・育成してもらおうこととしました。

各家庭で育ててもらった苗木は、将来、気仙地区内に植えることとしています。

#### (4) その他

昼休みに気仙材PRキャラクター「林太郎」が駆けつけ、イベントを盛り上げてくれました。



### 3 参加者の感想等

「森の中にかくれたものを探すのが難しかった」「楽しかったし勉強になった」など、全員から満足したとの感想をいただくことができました。

### 4 今後に向けて

当センターでは、秋にも同様のイベントを予定しており、全国植樹祭で高まった森林・林業への興味・関心をより一層高め、地域の豊かな森林資源を次世代に伝えていく取組を継続していきたいと考えています。